

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和2年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	バリアフリー化設備等整備事業補助金 誰もが移動しやすい交通環境の実現に向けて、交通事業者が実施する鉄道駅等におけるバリアフリー化設備等の整備に対して補助を行う。 補助率 1/3						
款・項・目	土木費 都市計画費 都市計画総務費						
所属等	都市政策部 都市交通政策課 地域交通整備室 電話025-226-2730						

年 度		平成29年度（1年目）		平成30年度（2年目）		令和元年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	120,666	105,000 (繰越)	105,000 (繰越)	101,666	0	
	決算(千円)	3,490		101,555 (繰越)	94,776	0	
補助率		1/3		1/3		1/3	
目 標		バリアフリー新法に基づき交通事業者が実施する、鉄道駅等におけるバリアフリー化の推進（利用者数3,000人以上の鉄道駅14駅のバリアフリー化） <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上			85.7%	小針駅工事施工	85.7%	整備なし
	達成率 50%以上	78.6%	2年目に繰越				
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						令和元年度はバリアフリー化設備等の整備を未実施。 達成状況：12駅/14駅
補助事業者による情報の公表		補助対象施設等に掲示					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1/2以内か	<input type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input type="radio"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input type="radio"/>
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること ・国が策定したバリアフリー新法に基づく基本方針において、平成32年度までに3,000人/日の利用のある鉄道駅のバリアフリー化率を100%とする目標を示している。 ・本市においても、対象となる市内の鉄道駅14駅のバリアフリー化について、補助金を継続して支援していく。					